

PRESS RELEASE



スタンダードチャータード銀行、MTV、ザ・ボディショップの共通点は？ HIV/AIDSはみんなの問題です。

第7回アジア・太平洋地域AIDS国際会議(2005年7月1日～5日)

2005年6月23日、東京 - スタンダードチャータード銀行は、7月1日に神戸で開かれる第7回アジア・太平洋地域AIDS国際会議(ICAAP)に関連して、HIV/AIDSの啓発と予防における企業の役割に注目した、サテライト・シンポジウムを開催いたします。

今現在、日本ではHIV/AIDSの影響が強まっています。国連エイズ合同計画の統計によると、2004年に日本で新たに感染した人の数は過去最高の1,165人となりました。これは前年比14%増で、サハラ砂漠以南のアフリカなどエイズ問題の深刻な地域の伸び率に匹敵する水準です。感染者数の合計は4年ごとに倍増していると考えられています。エイズ問題の深刻な国の多くで、企業は従業員がかなりの比率でHIVに感染しているという現実と直面しています。

このシンポジウムの中では、スタンダードチャータード銀行東京支店 CEO マーク・デヴァダソン、ザ・ボディショップ・ジャパン社長岩田松雄、MTV ジャパン社長笹本 裕の三者は、HIV/AIDS 対策における企業の役割、各社が活動に取り組みに参画するに至った背景や動機、活動事例を紹介しながら、この問題に対して企業はどう行動するべきか、またなぜ行動しなければならないのかの議論を呼びかけます。

～ サテライト・シンポジウム概要 ～

主催：スタンダードチャータード
協力：ザ・ボディショップ、MTV ジャパン

テーマ：HIV/AIDS はみんなの問題です

日時：2005年7月1日(金) 3-5PM

場所：神戸ポートピアホテル※

内容：スタンダードチャータード銀行、ザ・ボディショップ、MTV ジャパンによるプレゼンテーション。

世界的な企業として、また地域に根ざした企業として、どうHIV/AIDS問題に取り組んでいるかを話し合います。三社のCEOや社長への質問や、国内で拡大しつつあるエイズに対し日本で事業を行う企業はどう取り組むべきかという問題に関するICAAPへの提案も受けつけます。

対象：一般

参加費：無料

※神戸ポートピアホテル 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 TEL(078)302-1111

「三宮」駅からのアクセス JR・阪急・阪神・地下鉄「三宮」駅より、ホテルシャトルバス(無料)ご利用で約15分

スタンダードチャータード銀行東京支店CEOのマーク・デヴァダソンはこう語っています。「HIV/AIDSに関する教育の専門家であるパートナー団体と協力して、2005年末までに3万8千人の若者を対象にHIV/AIDSの啓発活動を行いたいと考えています。これはスタンダードチャータード銀行の従業員数と同じ人数です。HIV/AIDSについては予防と必要に応じた健康面での支援がもっとも重要だと考えています。教育もカギを握っており、感染者が差別されないようにすることが大切です。

(本件に関するお問合せ先)

スタンダードチャータード銀行 東京支店 広報部 パトリシア・バーダー ジョンストン

TEL: 03-5511-1361 patricia.bader_johnston@jp.standardchartered.com

世界におけるスタンダードチャータード銀行について

スタンダードチャータード銀行は、アジア・太平洋地域、南アジア、中近東、アフリカ、英国、南北アメリカの 50 カ国以上で 950 の拠点を有する、世界でもっとも国際的な銀行の一つです。3 万 8000 人の従業員を擁しており、その国籍は 80 にのぼります。

スタンダードチャータード銀行は、リテール（小口金融）およびホールセール（大口金融）業務の両面でサービスを提供しています。リテール銀行業務では、個人顧客および中小企業に向けてクレジットカード、個人ローン、住宅ローン、預金、資産運用のサービスを展開しています。また、ホールセール業務では、企業および団体に対する、貿易金融、金庫管理、貸し付け、証券サービス、為替手当て、債権資本市場、コーポレートファイナンスを手がけています。

スタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースで FTSE100 構成銘柄の上位 25 社の一つに数えられています。

世界における SCB のウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本およびアジアにおけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての出張所を開設した1880年にさかのぼり、今年11月1日には開設125周年を迎えます。東京支店は山王パークタワー(千代田区)にあり、現在160人を擁しています。うち日本人社員は94%

にのぼります。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供しながら成長を続けています。

スタンダードチャータード銀行は過去1年間、Permatta Bank(インドネシア)、韓国第一銀行(韓国)、ANZのアジア、中近東全域のプロジェクトファイナンス事業、Prime Credit(香港)等の一連の買収戦略と、自身の自律成長を共に進め、アジア、アフリカ、中近東の各地域で確固たる地位を確立してきました。また、中国では150年にわたり事業発展を進めてきました。事業拠点を香港におき、珠江デルタでの成長を続ける一方で、その勢力をさらに北に拡張すべく、中国のネットワーク(現在7支店)を通じて現地の銀行との提携の機会も探求しています。

スタンダードチャータード銀行は、視力回復およびHIV/AIDS教育の分野で地域組織を支援するCSRプログラムを積極的に実施するなど、地域社会への貢献に向けてたゆまぬ努力を続けています。

日本における SCB のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.com/jp/japanese/

日本における SCB のウェブサイト(英語): www.standardchartered.com/jp/index.html



スタンダードチャータード銀行は“*Seeing is Believing*”プログラムを推進しており、
2年間で100万人の視力回復の実現を目指しています